

感染症情報 1月14日～20日

府下小児科199医療機関(堺市19)から

| | | |
|------------|-----------|------|
| ①感染性胃腸炎 | 1,357例(堺市 | 89例) |
| ②溶連菌感染症 | 380例(堺市 | 47例) |
| ③RSウイルス感染症 | 123例(堺市 | 9例) |
| ④伝染性紅斑 | 112例(堺市 | 7例) |
| ⑤咽頭結膜熱 | 70例(堺市 | 7例) |

府下インフルエンザ定点302医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 13,920例(堺市 1,521例)

感染症報告数は前週比5.6%減の2,234件であった。

報告数の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、伝染性紅斑、咽頭結膜熱の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週比5%減、堺市も同5%減であった。溶連菌感染症は府下で4%増、堺市で6%減であった。RSウイルス感染症は府下で4%増、堺市で7例→9例であった。伝染性紅斑が府下で1%増、堺市で6例→7例となった。咽頭結膜熱が府下で29%減、堺市で7例→7例であった。

インフルエンザが府下で前週11,117例→今回13,920例となった。25%増で定点当たりの報告数は36.81→46.09であり、大阪府全ブロックで警報レベルを超えている。堺市では前週1,143例→今回1,521例となった(33%増、定点当たり52.45)。

麻疹の報告が府下で今回8例あり(堺市はなし)。京セラドームや隣接の商業施設からの感染拡大が懸念される。風疹は府下で同8例あった(堺市で1例あり)。